

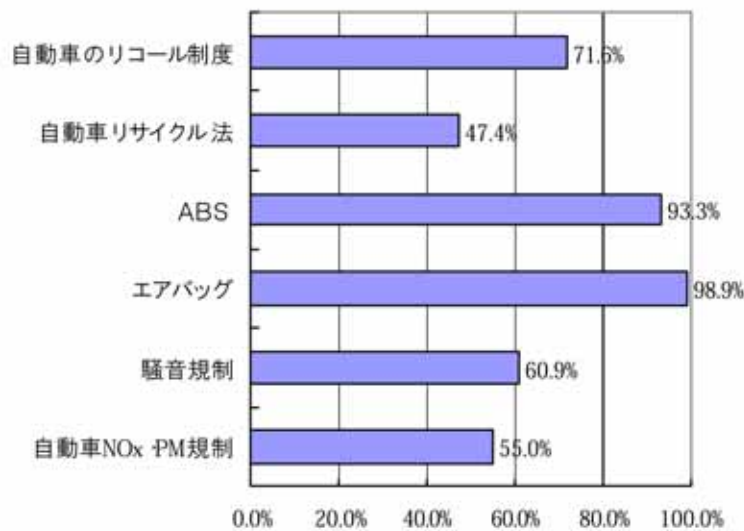
検査・点検整備に対するユーザー意識調査の概要

国土交通省が、平成16年2月に行った「ユーザー意識調査」の結果がまとまった。本調査は、インターネットの登録モニターから自動車保有者を1万人抽出してアンケートを回収し、2,158人から回収を得たもので、去る4月8日に開催された「第2回自動車検査・点検整備に関する基礎調査検討会」において報告された。

調査結果の概要

1. 自動車に対する関心度

自動車に関する関心の内容 (n=2158)



自動車への関心は「非常にある」、「まあまあある」と答えたユーザーをあわせて70.4%。

「安全への関心、環境への関心」は約80%と、自動車への関心よりさらに高い。具体的関心事項では、「エアバックやABSなど安全装備品」についてはいずれも90%以上と高く、続いて「リコール制度」の70%程度となっている。また、「NOx、PM規制などの環境面」は安全面に比べて関心は低い。

い。

サスペンション、エアクリナー、ラジエーター、ヒューズの「名称は知っているが、機能は知らない」ユーザーが2割程度いる。

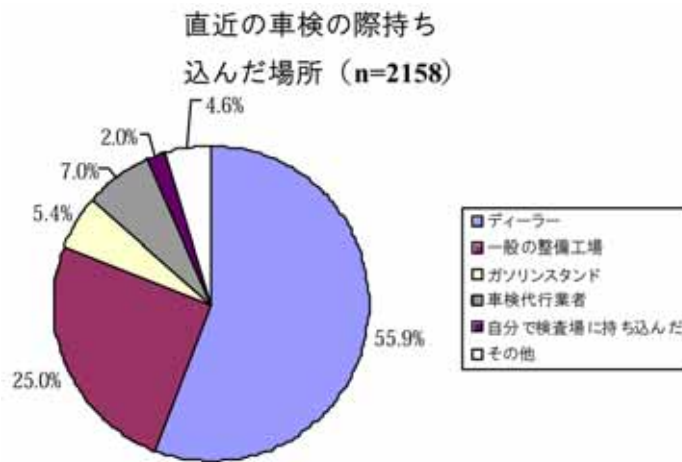
2. 路上故障の際の措置

路上故障体験の有無 (n=2158)



「路上故障の体験のある」ユーザーは40.7%。このうち「JAFに故障救援依頼した」ユーザーが41.0%と多く、次いで「近くの整備工場に持ち込む」のが17.2%、もしくは「来てもらうが」13.1%、さらに「自ら修理した」ユーザーは12.6%であった。

3. 車検の実施場所



直近の車検では「ディーラーに依頼する」ユーザーが55.9%と多く、次いで「整備工場」が25.0%、さらに「車検代行業者」への依頼が7.0%、「ガソリンスタンド」が5.4%となっている。

自ら検査場に持ち込む「ユーザー車検」は、直近の車検で2.0%。

次回車検を受ける場合には、「ディーラー」を希望するとしている

ユーザーが少し増加して58.9%となっているほか、「ユーザー車検を受ける」というものも、2.6%と若干増加している。

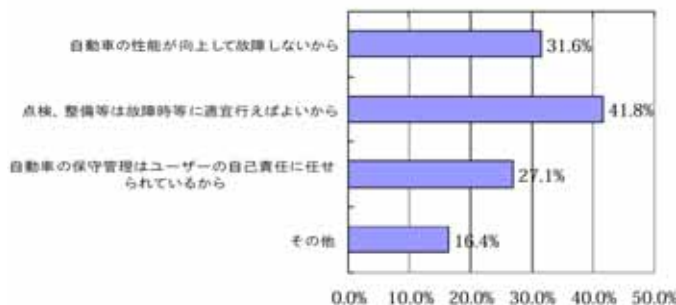


車検時に定期点検を行う意向の人の理由 (n=1824、複数回答)



4. 車検時の定期点検実施状況

車検時に行わずその後も定期点検を「実施しないつもり」と答えた人の実施しない理由 (n=224)



直近の車検で、「車検時に定期点検整備を行っている」ユーザーは69.0%。16.3%のユーザーは「定期点検整備を実施していない」。

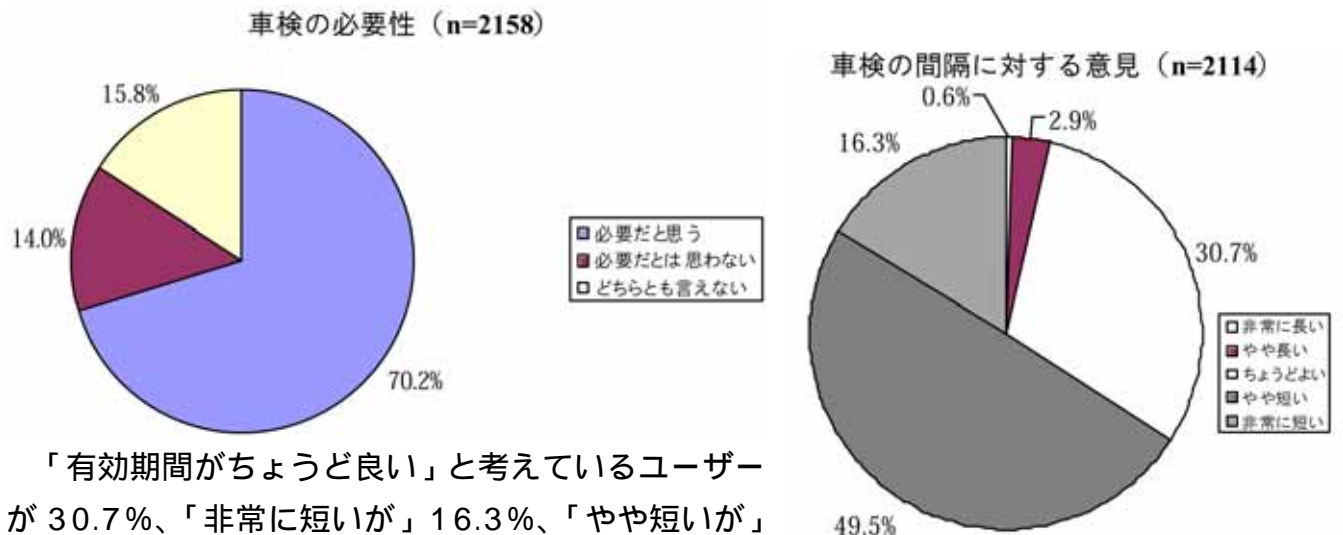
「次回車検時に定期点検を実施したい」と考えているユーザーは84.5%。「行わない」と考

えているユーザーは15.5%いる。

車検時に定期点検整備を行う理由としては、「検査が1回で済む可能性が高いから」が46.8%、「安全性を確保し公害を防止するため」が43.8%、「国が定期点検を義務付けているから」が26.0%となっている。

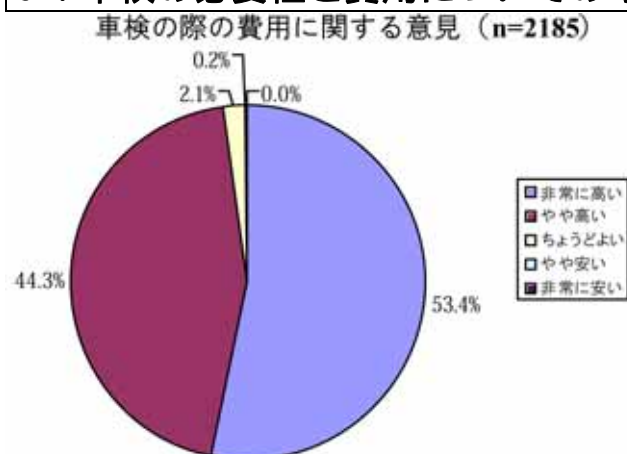
車検時に定期点検を行わない意向のユーザーの73.1%は、その後も「定期点検はしない」と考えている。その理由は「点検、整備等は故障時等に適宜行えばよい」(車検時に実施しないでその後も実施するつもりがないと考える人の41.8%)との考え方を持っている。

5. 乗用車の車検の有効期間の考え方



「有効期間がちょうど良い」と考えているユーザーが30.7%、「非常に短い」が16.3%、「やや短い」が49.5%となっており、「車検の有効期間が短い」と考えているユーザーが65.8%いる。

6. 車検の必要性和費用についての考え方等



「車検は必要である」とするユーザーは70.2%、「必要だと思わない」が14.0%。

必要と思うと考えるユーザーの理由は「安全走行と環境保全のため」が64.0%、次いで「車検が無いと保守管理を行わないから」が29.3%。

必要と思わないユーザーの理由は「保守管理はユーザーの自己管理責任に任せるべきであり法律で義務付けられるものではない」が45.1%、「自動車の性能が向上し故障しないから」が36.1%、「点検整備は故障時などに適宜行えばよい」が15.8%。

車検の際の費用が高い原因として、「税金」とするユーザーは70.0%と高く、「点検整備料金」が高いとしているユーザーは12.6%。

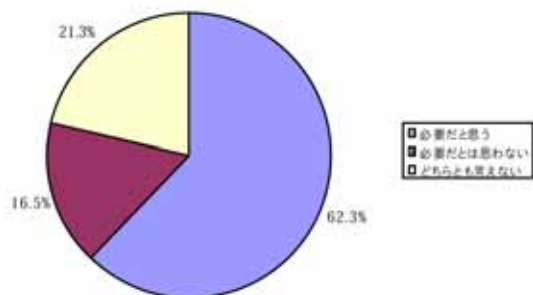
「ユーザー車検」という言葉を知らないユーザーは3.5%にすぎない。

「立会い整備方式」については、「名前を知っている」ユーザーは60.8%、これを「利用した」ユーザーは10.2%。

車検を依頼する際、ユーザーが重視している内容は、「時間が短いことや費用が安いことよりも信頼できる整備工場である」こととしているユーザーが56.3%。

7. 点検整備の必要性など

自動車の定期点検整備の必要性 (n=2158)



「点検整備の必要性を認めている」ユーザーは62.3%、「必要ではない」というユーザーは16.5%。

定期点検整備の実施場所としては「車を購入したディーラー」が52.4%、「車を購入した場所以外の整備工場(ディーラーを除く)」が10.5%、「自分自身」が7%、「車を購入した整備工場」が7%、「車を購入したディーラー以外のディーラーの工場」がそれぞれ7%程度、「ガソリンスタンド」が5.5%であった。

ボンネットをユーザー自ら開けて点検する頻度は「月に一度程度」が27.0%、「半年に一度程度」が26.2%、「年に一度程度」が14.0%である。また、「開けたことがない」ユーザーは25.7%いる。